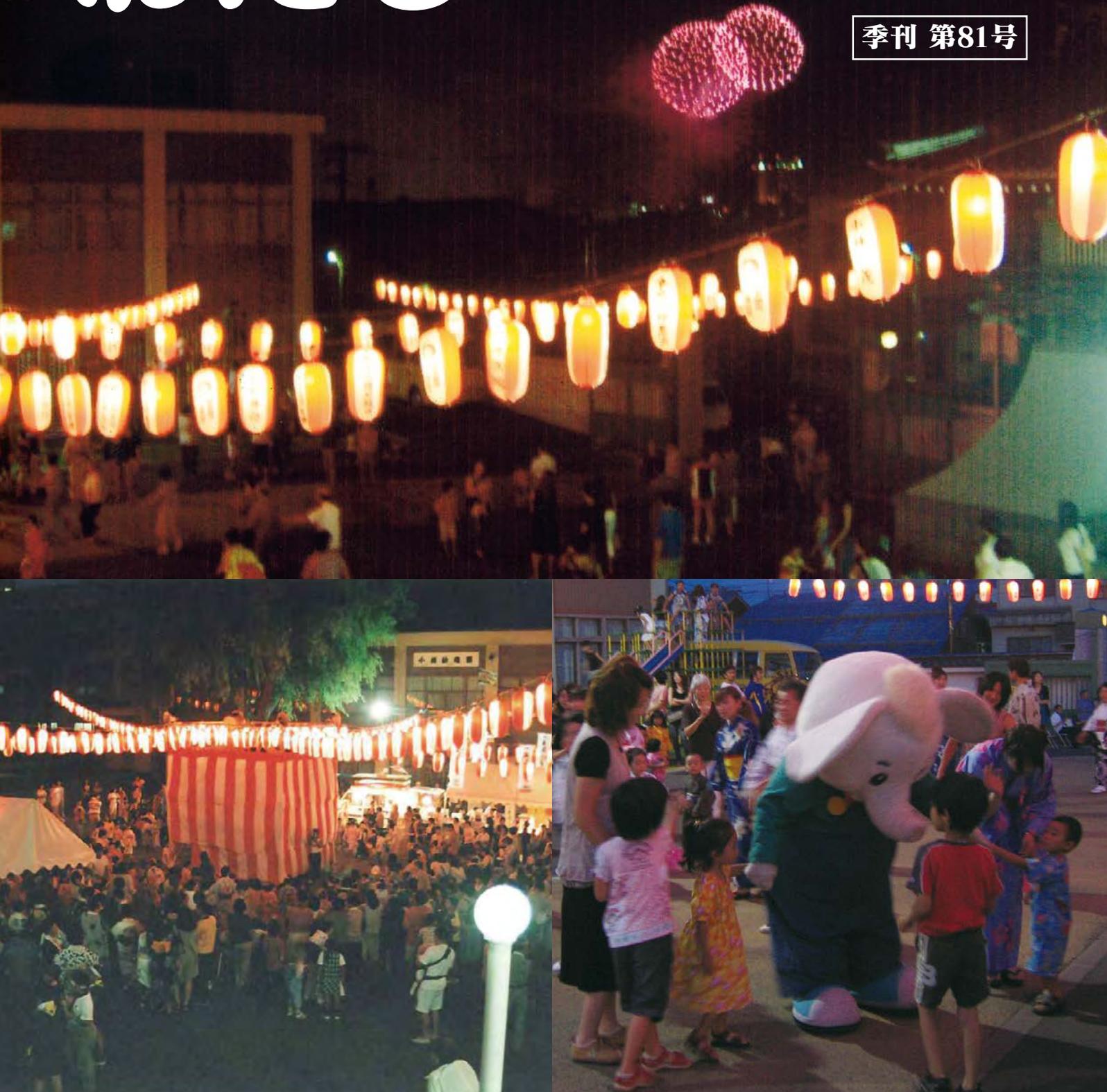


おたる 西別院だより

季刊 第81号



◇ 総裁（お裏方）様ご臨席 ◇ 平成19年10月5日（金）

本願寺小樽別院仏教婦人会創立100周年記念式典
双葉高等学校創立100周年記念式典
小樽幼稚園創立100周年記念式典

於、小樽別院本堂
於、双葉高等学校
於、小樽幼稚園

『お盆の主役はあくまで私』

どうして浄土真宗は、（他宗の目から見れば）お盆らしいことをしないのか。その答えの一つに「浄土真宗は年中お盆だから」というのがあります。お盆にはご先祖が帰ってくるというけれど、ことさらお盆の期間といわず、ご先祖はお念仏の声の中にいつでも帰ってきておられるではないかということです。

浄土真宗には、「お盆にはこうしなさい」という決まりがありません。基準がないというのは自由なようで難しいのです。自分で考えねばならないからです。無責任なように申し訳ありませんが、心がこもっていれば本当に何でもいいのです。

難しいでしょうけれど、あなたが「これでお盆らしくなった」というお飾りをして下さい。

そうして、お盆のお飾りをして迎える主役は、「帰ってくるご

先祖」ではありません。ここが他の宗派とは違うところですよ。ご先祖がたくさんのお供えをして、美しくお仏壇が飾られたことを喜ばれるではありません。

主役はあくまでも、お仏壇の前に座る「私」なのです。盆提灯も、盛られた果物も美しい蓮の華も、すべてはお浄土の世界、ご先祖のおられる仏さまの世界を、あらためて私が身近に感じるためのものなのです。

お盆らしくお飾りされたお仏壇の前で、静かにご先祖を想って下さい。私の心に帰ってこられたご先祖と、静かに対話して下さい。そして静かにお念仏なさって下さい。

お浄土は、蓮の国です。この世界で一言お念仏を称えると、お浄土の蓮が一つ「ポン」と花開くといわれています。

御堂さんラックス「仏事の小箱」より転載

お盆を迎えるにあたって

お盆は盂蘭盆会とも呼ばれ、あります。

その由来は仏説盂蘭盆経というお経の説話がもとになっています。

このお経には、お釈迦さまの

弟子の目連尊者が亡くなった母を餓鬼道という苦しい世界から救い出す話が説かれています。

神通力を得た目連尊者は餓鬼道にいる母を救い出すため、お釈迦さまの教えに従い、修行僧に飲食物を施すことで救われたと説かれています。

ここで大切なのは、飲食物を施すという形式的な事よりも、仏・法・僧の三宝に帰依するということです。これにより、目連尊者の母は己の欲に翻弄される餓鬼の世界から救われたので

あります。

浄土真宗のお盆は亡くなった方をお迎えし、先祖供養のために飲食物をお供えするという仏事ではありません。

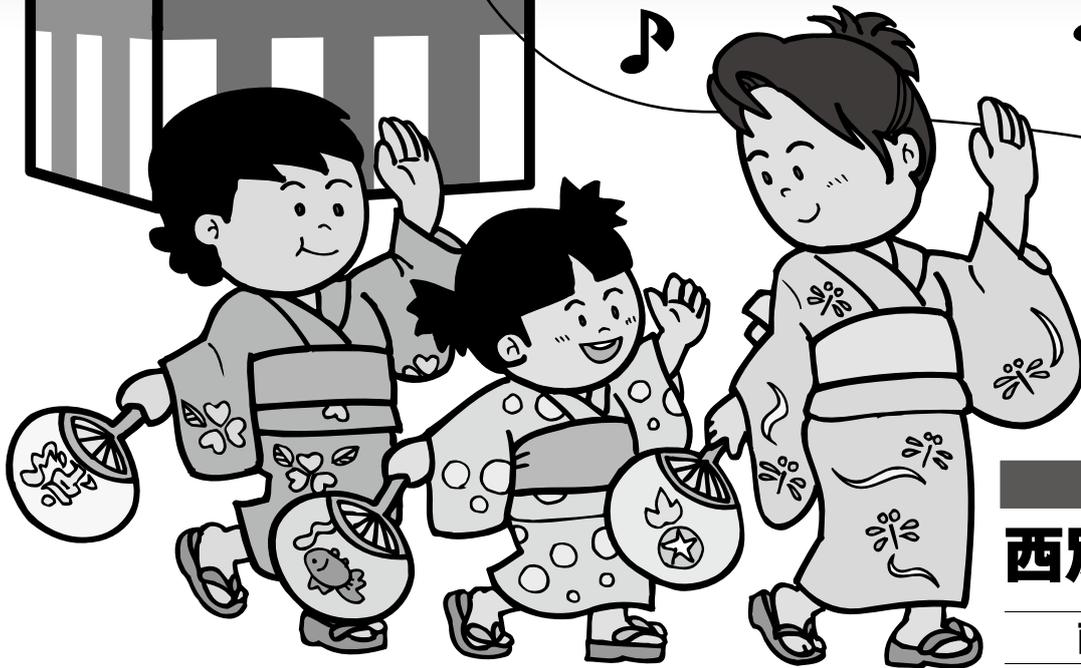
今生かされている私たちは、阿弥陀さまの「必ず救う」という願いの中にあります。日々お念仏申させていただく中に、お盆という仏事を通して亡くなった方との尊いご縁があった事に気づかせていただきましょう。



歌って踊る、みんなの広場★

8月4日(土)・5日(日)

盆おどり



開催場所
西別院境内
雨天中止

お盆参詣

八月六日(月)～十二日(日)の間でお盆参りに伺います。
(あらかじめハガキにて、期日をお知らせいたします。)

納骨堂の読経

.....
八月十三日(月)～十六日(木)
朝八時～夕方六時まで納骨堂での読経を受けたまわります。

盂蘭盆会

八月十五日(水)～十六日(木)
午後一時三十分より小樽別院本堂にて勤修いたします。

法座のご案内



● 仏教婦人会

毎月一回の例会やいろいろな研修会への参加、お寺の法要や行事の参加・お手伝いなど活動盛りだくさんの会です。例会は今年度から内容も新しくなり、仏教讃歌の練習や身近な仏事・作法のお話を聞かせていただいたり楽しい時間を過ごせます。見学だけでも結構ですので、ご参加ください。

●活動

毎月15日 11時より

場所：ホール



● 仏教壮年会

毎月の例会は布教使さんの法話や茶話会を通じて、仏教を身近なものとして感じられるような活動内容となっております。その他お寺の法要に参拝したり奉仕活動や研修会への参加を中心に活動しています。

●活動

毎月6日 19時より

場所：会議室

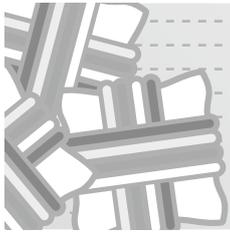


● 仏教青年会

若者による集まりです。バーベキューや旅行などいろいろな行事をみんなで計画して活動しています。現在会員十五人。他のお寺との交流もあり、楽しくやっています。

●活動

毎月1回 18時半より



教化団体・ご



●ガヤガヤ会（若婦人会）

50歳くらいまでの女性を対象とした集まりで、一緒におつとめをし、普段なかなか聞けない仏事作法のお話や、仏さまのお話を聞いたり、日常の話題や悩みなど茶話会で話しています。

●活動
毎月15日 19時より
場所：会議室



●日曜仏教講座

双葉高校の宗教の桜井先生をご講師に迎え、講座を開いております。やさしいテキストと豊富な資料、そして先生の軽快なお話で楽しく仏教について学んでいただけます。月により日が異なる場合がございますので、お寺に確認のうえご参加ください。

●活動
毎月第3日曜日 9時半より
場所：会議室



●おつとめ教室

おつとめや仏教讃歌の練習・仏事作法の講習を行っています。普段おつとめさせていただく機会の多いお経から始めます。どなたでもご参加いただけます。

●活動
毎月第1・第4火曜日
14時より
場所：会議室

宗祖降誕会特集

5月18日

● 双葉高校参拝



● 三園合同参拝



双葉高校生徒の声（宗祖降誕会音楽法要）

- 献灯ですごく緊張しました。ひさしぶりに別院にお参りできて懐かしかったです。（1年生女子）
- 理事長先生のお話を聞いてもう一度高校生活を見直そうと思いました。双葉高校に入学してから命について考えさせられることが多くなりました。ほかの高校では学べない貴重な経験でした。（1年生女子）
- お寺は広い！鐘の音（喚鐘）を聞いた時にその音の大きさに驚きました。正座だったので足が痛くて参った。（1年生男子）

5月19日

● 双葉中学参拝



双葉中学校生徒の声

- 初めてお寺にきました。お寺は静かなので緊張しました。
- 理事長先生がお衣を着ていて、いつもと違う感じがしました。
- （本堂の内陣が）金色で光っていてすごいなあと思いました。



5月20日

●双葉高校吹奏楽・書・華の展覧



華道部の出展者の声

●出展させていただき、ありがとうございました。これを機に更に練習を重ねていきます。（書道部員）
○今回の出展を機に、集中度を高めながら後志支部大会に向けて頑張りたいと思います。（書道部員）
●今年も私たちの華道を展示し、たくさんの方々にご覧頂きありがとうございました。

（華道部三年）
○花の生け方も個性が出ます。それぞれの生け方をお楽しみ下さい。（華道部三年）
●華道はとても楽しいです。生けるとき生け終わったとき充実感があります。（華道部二年）
○私たちの演奏で多くの方々の喜ば

せることができ、とてもうれしく思います。（吹奏楽部）
●多くの方々に演奏を聴いて頂き、抽選にも参加できてよかったです。（吹奏楽部）
○おじいさん・おばあさんとふれあうことができてよかったです。（吹奏楽部）



●法要・初参式・お抹茶・お華の展示等



初参式受式者の声

●お寺でこういう行事があるのを初めて知りました。子どもにとっても親にとっても良い記念になりました。

ご門徒さん
を訪ねて

第一回

和洋菓子のお店
里李庵

ご門徒さんをたずねて今回からお店などを紹介していきます。第一回目は朝里の里李庵さん。別院の法要のお餅や百日参拜のお振る舞いのお菓子をお願いしているお店です。今回は店主の牧田敏雄さんにお話をうかがってきました。



お店を構えたのが昭和五十七年の十一月三日。その頃の朝里はショッピングセンターと朝里市場くらいしかない静かな町だったそうです。自宅の食卓を改造した厨房で、朝七時半の仕込みから一日が始まります。商品のほとんどが手作りで和菓子・洋菓子何でも作るそうです。オススメは？という問いに、「いろいろあるからねえ。最近ケーキや饅頭



以外にもかりんとうとか生チョコもおいしいよ」とのコメント。お寺とのご縁はという問いに「小学生の時からだよ」と。「昔は説教所がなかったから、お講（法友会の前身）の会所は会員さんの自宅で持ち回りだったんだ、その時お寺さんがスライド持ってきてくれて見せてくれたのが印象的だったなあ」。「あとはね、報恩講の時の米の袋をお使いであちこち届けにいったのも覚えてんだ」とおっしゃっていました。

今は、月参りの時は奥さんにお店をまかせて、自宅に戻って一緒に出勤するのが習慣。新光説教所の法友会の会員でもある敏雄さんは「難しい話はわからないけど、月に一回くらいこういう時間を持つのはいいことだ」といつも元気で笑っています。これからも新しい商品を開発し、変わらない味も守っていききたいとのことでした。（森）

●里李庵

場所 小樽市朝里2丁目13番15号
国道5号線沿い 朝里十字街そば
電話番号 54-6127
営業時間 9:00～19:30
定休日 不定休

ご門徒の和崎光晴さんの記事が北海道新聞の朝里川プレスに掲載されました。「ゴミ出しのマナー、間違っていないですか？」



和崎 光晴さん

新光四丁目の朝里中央公園をボランティアで清掃されている和崎光晴さんが「ゴミステーションに

もう二ヶ月以上、長い木の枝が放置されているのですが、どこに頼めば撤去してくれるんでしょうね」と、四月十七日（火）、当販売所を訪れた。

和崎さんの地道な清掃活動は二〇〇五年十二月十一日発行の朝



写真の枝は4月19日には回収されていた。左の黄色いゴミ袋は時間外に出されていたらしく注意書きのシールが貼られていた。

里川プレスでも紹介しているが、いまだに粗大ゴミの投げ捨てが後をたたないのだという。木の枝などは長さ一メートル、直径約三十五センチ以内で束ねて燃やすゴミのシールを貼って捨てる決まりだが、現場にはサイズオーバーの木が山積みになっていた。

小樽市の廃棄物事業所に問い合わせたところ、ゴミパトロール車を派遣して回収しますとの答え。不法投棄を見かけた場合は同事業所（二二一八一四一）に連絡すると速やかに対応してもらえようだ。

また、冬の間に坂道に撒かれた滑り止めの砂はスーパールのレジ袋などに詰めて、小樽市の建設部維持課（三二一四一一・内線三七六）に連絡すれば回収してもらえとのこと。

これから各町会やまちづくりの会などでもクリーン活動が行われます。ルールを守ってきれいな町づくりにご協力をお願いします。（高野るみ）

北海道新聞
中販売所発行
朝里川プレス
No.1083
(2007年4月22日曜日)
掲載記事

別院門徒物故者

（平成十九年三月一日～五月三十一日）



職員退職のお知らせ

宮内 綾子 さん

平成十七年四月より小樽別院事務員としてお勤めいただきました宮内綾子さんが平成十九年五月三十一日をもって退職されましたのでお知らせいたします。



本堂修復懇志新規進納者御芳名

●門徒懇志

- | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 金七拾萬円 | 佐野 昇 | 金四拾萬円 | 小西 千代 | 内山 功 |
| 金六拾萬円 | 村上 蓉子 | 鈴木 道夫 | 長谷川聖一 | 実川 元規 |
| 金四拾六萬円 | 山上 保治 | 中野 弘一 | 折川 章市 | 新谷 信吉 |
| 金四拾五萬円 | 小梅 ヨシ | 間宮 行子 | 須川 澄子 | 三井美枝子 |
| 金四拾三萬円 | 小林 和雄 | 五十嵐 司 | 内田富満江 | 伊賀 紀夫 |
| | | 濱谷 一郎 | | 吉見 孝 |



編集後記

ご門徒さんの商店に取材に伺ったり、新聞の記事を転載させていただいたり、今回から新しい試みを始めさせていただきました。これからもみなさまに読んでいただけるような身近な機関誌を目指してまいりますので、引き続きご意見・ご感想をお待ちしております。

連絡先

本願寺小樽別院 小樽市若松1丁目4番17号
☎0134-22-0744 ☎0134-29-4080

3分間の
心のともしび
小樽別院



テレホン法話
TEL 27-1616

24時間
いつでも
どうぞ

●テレホン法話担当表

7/ 1日～15日(日)	武藤	8/16(木)～31日(金)	村田
7/16(月)～30日(火)	磯村	9/ 1(金)～15日(土)	温井
8/ 1(水)～15日(水)	梶	9/16(日)～30日(土)	森

みんな

仲良し

小樽幼稚園



～まこと(いのち)の保育を行っています～



小樽幼稚園の花まつり(灌仏会)

5/8に小樽幼稚園で花まつりをお祝いしました。園児が花御堂にお花をお供えし、誕生仏に甘茶をかけ(灌仏)、みんなで手をあわせ、お釈迦さまのお誕生をお祝いさせていただきました。若竹保育所・新光保育園との三園合同の降誕会参拝の様子は内面6頁に紹介しております。



園児募集

途中入園可能

- 募集園児 3歳児(H15.4.2～H16.4.1生まれ)
- 4歳児(H14.4.2～H15.4.1生まれ)
- 5歳児(H13.4.2～H14.4.1生まれ)

願書受付 新入園受付中です。

※事前に御連絡下さい。



学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園 TEL/FAX 0134-22-6536

全日本葬祭業協同組合連合会北海道葬祭業協同組合会員
社団法人全国霊柩自動車協会北海道支部連合会札幌支部

安心と信頼 *if* 共済会取扱店

24時間営業

小樽典礼株式会社

小樽市稲穂3丁目4番1号

TEL (代) 27-1801・FAX 27-1804

和洋菓子

り り あん
里 李 庵



牧田 敏雄

店舗 小樽市朝里2丁目13番15号
電話 店舗(54)-6127

広告募集

「おたる西別院だより」に掲載して下さる商店や業者等を募集しております。詳しくは 0134-22-0744 別院だより担当者：森までご連絡下さい。